

トワイライト・オン（早めの点灯）キャンペーン 9月21日～12月31日

平成30年の県内の夜間の交通事故死者数は41人で、うち夕暮れ時から夜間にかけての時間帯（午後4時～8時）の死者数は19人と約46%を占めています。

夕暮れ時から夜間に道路を歩行したり自転車を利用したりする場合は、ドライバーに存在を認識してもらいやすいように反射材などを身に付けましょう。

ドライバーは、日没約30分前のライト点灯や先行車・対向車がない場合にハイビームにするなど、歩行者・自転車利用者の存在を早めに認識し、事故防止に努めましょう。

ライト点灯時間の目安	
1月、10月	午後4時30分頃
2月、9月	午後5時頃
3月、4月	午後5時30分頃
5月、8月	午後6時頃
6月、7月	午後6時30分頃
11月、12月	午後4時頃



問 生活環境課（内線172）

特定外来生物「セアカゴケグモ」にご注意ください

セアカゴケグモは「特定外来生物」に指定されています。1995年11月に大阪府内で初めて発見され、その後、西日本を中心に生息範囲が広がりました。2017年2月現在、北海道から沖縄県まで44都道府県で生息が確認されています。

セアカゴケグモの特徴

- 生体のメスは約7から10mmで全体的に黒色または黒褐色をしています。背中には、中央に赤色の縦すじ模様、腹部の裏面には四角あるいは砂時計型の赤色の模様があります。
- 成体のオスは約3から6mmで腹部が細く、茶褐色をしています。メスと違い人体に及ぼす毒性はありません。
- 卵のうは直径10から15mmの乳白色の球形をしています。

セアカゴケグモを見つけたら

クモを見つけたら、殺虫剤をスプレーするなどして駆除してください。おとなしいクモなので、驚かせない限りヒトをかむことはないと言われていますが、絶対に素手で捕まえようとしないでください。万が一かまれた場合には、医療機関を受診してください。



問 生活環境課（内線177）